

(その1)

地球温暖化対策結果報告書

1 地球温暖化対策事業者等の概要

(1) 地球温暖化対策事業者等の氏名等

地球温暖化対策事業者等の氏名 (法人にあつては名称及び代表者又は管理者の氏名)	多摩ニュータウン環境組合 管理者 阿部 裕行
地球温暖化対策事業者等の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都 多摩市 唐木田 二丁目1番地1

(2) 事業所の概要

事業所の名称		多摩ニュータウン環境組合		
事業所の所在地		東京都 多摩市 唐木田 二丁目1番地1		
業種等	事業の業種	分類番号	Q85 Q:サービス業(他に分類されないもの) 廃棄物処理業	
		産業分類名	廃棄物処理業	
	事業所の種類	主たる用途	※部門分類	<input checked="" type="radio"/> 産業 <input type="radio"/> 業務
			<input type="radio"/> 工場 <input type="radio"/> 熱供給施設 <input type="radio"/> 上水道・下水道施設 <input checked="" type="radio"/> 廃棄物処理施設	
			<input type="radio"/> 事務所 <input type="radio"/> 商業施設 <input type="radio"/> 宿泊施設 <input type="radio"/> 教育施設	
<input type="radio"/> 医療施設 <input type="radio"/> 文化施設				
		<input type="radio"/> その他 ()		
	建物の使用形態	<input type="checkbox"/> テナントビル等に該当		
事業の概要		一般廃棄物処理業 可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみの処理 八王子市、町田市、多摩市からなる一部事務組合		
主なテナント事業者等の概要 (テナントビル等の場合に記載)		(1) テナント事業者等の名称		
		(2) テナント事業者等の名称		
		(3) テナント事業者等の名称		
敷地面積		35,600	m ²	
建物の延べ面積		24,380	m ²	

(3) 担当部署

計画の担当部署	名称	施設課	
	連絡先	電話番号	042-374-6331
		ファクシミリ番号	042-337-5061
		電子メールアドレス	shisetsu@tama-seisokojo.or.jp
公表の担当部署	名称	総務課 総務係	
	連絡先	電話番号	042-374-6331
		ファクシミリ番号	042-337-5061
		電子メールアドレス	info@tama-seisokojo.or.jp

(その2)

(4) 地球温暖化対策結果報告書の公表方法

公表期間	平成22年7月1日 ~ 平成23年6月30日		
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	http://www.tama-seisokojo.or.jp
	<input checked="" type="checkbox"/> 窓口で閲覧	閲覧場所:	多摩ニュータウン環境組合 リサイクルセンター
		所在地:	多摩市 唐木田 二丁目1番地1
		閲覧可能時間	10:00~17:00
	<input type="checkbox"/> 冊子	冊子名:	
	入手方法:		
<input type="checkbox"/> その他			

2 計画期間

17 年度 ~ 21 年度

3 温室効果ガスの総排出量の状況

(1) 計画期間の最終年度の温室効果ガスの総排出量 単位:t(二酸化炭素換算)

CO ₂	CH ₄	N ₂ O	HFC	PFC	SF ₆	合計
6,275						6,275

(2) 基準排出量及び計画期間の最終年度までの温室効果ガスの総排出量の推移 単位:t(二酸化炭素換算)

	基準排出量	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
総排出量	6,350	6,397	6,480	6,721	6,443	6,275
基準排出量 比増減率		-1%	-2%	-6%	-1%	1%

4 工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の状況及び排出抑制に係る措置の実施状況(総括)等

(1) 温室効果ガスの排出の量 (計画終了年度: 21 年度)

ア 計画期間の最終年度の温室効果ガスの排出の量 単位:t(二酸化炭素換算)

CO ₂	CH ₄	N ₂ O	HFC	PFC	SF ₆	合計
6,254						6,254

イ 計画期間の最終年度の建物の延べ面積当たりの温室効果ガスの排出の量の状況等
(業務部門に該当する場合のみ記載)

建物の延べ面積当たりの温室効果ガスの排出の量	256.5	kg/m ² ・年
建物の延べ面積当たりのエネルギー消費量	510	MJ/m ² ・年

ウ 基準排出量及び計画期間の最終年度までの温室効果ガスの排出の量の推移 単位:t(二酸化炭素換算)

	基準排出量	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
排出量	6,328	6,378	6,457	6,700	6,424	6,254
基準排出量 比増減率		-1%	-2%	-6%	-2%	1%

(2) 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況及び目標の達成状況

対策分類ごとの措置の実施 状況(実施の有無)	基本対策	● すべて完了 ○ 一部完了 ○ 未実施 ○ 計画なし
	うち、運用対策	● すべて実施 ○ 一部実施 ○ 未実施 ○ 計画なし
	目標対策	● すべて完了 ○ 一部完了 ○ 未実施 ○ 計画なし

目標の達成状況	推計実績削減量(目標対策分)	205 t-CO ₂
	推計実績削減率(目標対策分)	3.2%
基準年度中に完了した削減対策のうち、目標対策に相当するものの実施による削減率		

(その3)

5 自動車等に係る温室効果ガスの排出の状況及び排出抑制に係る措置の実施状況(総括)

(1) 温室効果ガスの排出の量

ア 計画期間の最終年度の温室効果ガスの排出の量

単位:t(二酸化炭素換算)

CO ₂	CH ₄	N ₂ O	HFC	PFC	SF ₆	合計
21						21

イ 基準排出量及び計画期間の最終年度までの温室効果ガスの排出の量の推移

単位:t(二酸化炭素換算)

	基準排出量	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
排出量	22	19	23	21	19	21
基準排出量 比増減率		14%	-5%	5%	14%	5%

(2) 温室効果ガス排出の抑制に係る措置の実施状況

排出の抑制に係る措置の実施状況	<input checked="" type="radio"/> すべて完了 <input type="radio"/> 一部完了 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 計画なし
-----------------	--

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況等に関する自己評価

(1) 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況等の総括

当組合では、ISO14001を取得し、環境負荷低減に向けた取組を積極的に推進するとともに、地球温暖化対策の取組も積極的に展開しています。

1. 清掃工場の省エネ対策

プラントを構成する設備機器の運転、稼動状況を検証し、機器の使用頻度、優先度等の見直しを行い、環境負荷低減及び省エネ(節電効果)につながる対策を実施しました。これにより温室効果ガス排出量の目標削減量を中間年度において達成し、今後も更なる温室効果ガス排出の削減及び抑制のための取組を推進していきます。

2. 清掃工場のサーマルリサイクル

効率的な運転(2炉運転日数の増加)を行い、発電量の向上、使用電力の自給率向上及び余剰電力を送電(電力供給事業者へ)することで、間接的に温室効果ガスの排出量削減に取り組んでいます。また、発電設備のない工場で処理していた調布市のごみを平成19年度より当工場で処理し、発電を行っているため、より効果的なサーマルリサイクルが可能となりました。他に、隣接する施設にも余熱を供給しています。

3. その他の取り組み

環境情報や運転状況をHPで随時公開し、より身近な情報提供として地域版ポスティングを行っています。また、地域住民に対し多摩環境フェスタや見学会を開催し、当組合の環境対策及び地球温暖化対策の啓発に努めました。平成21年度は、2,682名に対して施設見学を通しての啓発活動を実施しました。

(2) 次期計画期間における取組方針

多摩ニュータウン環境組合は「環境にやさしい安全で開かれた多摩清掃工場」を経営方針に定め、今年度以降も環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001を活用し、地球温暖化対策・省エネ・省資源について積極的に取り組んでいきます。

またごみの焼却処理において発生した熱エネルギーを積極的に、発電と場内及び隣接する公共施設の熱源に利用し、サーマルリサイクルに努めていきます。今後も効率的な運転を実施し、環境負荷の低減に向けた施設を目指します。

その他、環境管理委員会を中心に職員への環境に対する意識の向上の指導はもちろんのこと、地域住民及び児童、生徒に対しても施設見学等を通して、当組合の環境対策を理解していただくとともに地球温暖化対策の重要性を認識してもらうための活動を行います。

(その4)

7 工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る目標の達成状況(個表)

(1) 基本対策及び目標対策

対策 No	対策の名称 (建物ごとに選定した場合は、建物の名称 も記載すること。)	対 策 レベル	追加 年度	計画時の削 減効果の見 込量(t)	達成状況		備考
					推計実績削 減量(t)	推計実績削 減率 (%)	
1	吸収式冷凍機の効率維持	基本対策(運用)▼					中間報告書 別紙A-1
2	管理基準値の設定及び計測・記録	基本対策(運用)▼					中間報告書 別紙A-2
3	不使用変圧器の停止	基本対策(運用)▼		8	9	0.13%	中間報告書 別紙A-3
4	単相負荷接続時の規定の作成	基本対策(運用)▼					中間報告書 別紙A-2
5	デマンド管理に係る規定の作成	基本対策(運用)▼					中間報告書 別紙A-2
6	昼間運転設備を夜間運転へ移行	基本対策(運用)▼					中間報告書 別紙A-6
7	電気使用設備の管理に係る規定の作成	基本対策(運用)▼					中間報告書 別紙A-7
8	高効率ポンプの更新	目標対策 ▼		4	11	0.16%	結果報告書 別紙3
9	照度の管理に係る規定の作成	基本対策(運用)▼					中間報告書 別紙A-2
10	定期的な計測及び記録の実施	基本対策(運用)▼					中間報告書 別紙A-10
11	節電型ランプに交換	基本対策(運用)▼		52	52	0.81%	中間報告書 別紙A-11
12	照明設備の保安全管理に係る規定の作成	基本対策(運用)▼					中間報告書 別紙A-12
13	定期的な保守及び点検の実施	基本対策(運用)▼					中間報告書 別紙A-13
14	照明器具の清掃	基本対策(運用)▼					中間報告書 別紙A-14
15	コンプレッサの吐出圧低減	基本対策(運用)▼		3	3	0.04%	中間報告書 別紙A-15

(その4)

7 工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る目標の達成状況(個表)

(1) 基本対策及び目標対策

対策No	対策の名称 (建物ごとに選定した場合は、建物の名称も記載すること。)	対策レベル	追加年度	計画時の削減効果の見込量(t)	達成状況		備考
					推計実績削減量(t)	推計実績削減率(%)	
16	省エネファンベルトへの更新	目標対策		28	28	0.43%	中間報告書 別紙B-1
17	コンプレッサーの系統統合	目標対策		117	117	1.84%	中間報告書 別紙B-2
18	スートブロー量削減	目標対策	19	20	20	0.31%	第3年度状況報告書A-1
19	白煙防止用空気加熱器の効率的な運転	基本対策(運用)	19	426	426	6.73%	第3年度状況報告書A-2
20	水中ポンプの適正能力化	目標対策	20	1	1	0.01%	第4年度状況報告書 別紙1
21	ごみクレーンバケットの省エネ化	目標対策	20	4	4	0.06%	第4年度状況報告書 別紙2
22	排ガス分析計の省エネ化	目標対策	21	24	24	0.38%	結果報告書 別紙1
23	灰クレーンバケットの省エネ化	目標対策	21	1	1	0.01%	結果報告書 別紙2

合計					694	10.9%	計画削減量(t)及び計画削減率(%)	688	10.8%
合計(うち目標対策分)					205	3.2%	目標削減量(t)及び目標削減率(%)	198	3.1%

(その5)

(2) 再生可能エネルギーの導入に係る措置

ア 再生可能エネルギーの導入に係る考え方

--

イ 再生可能エネルギーの導入計画及び前年度末における導入実績
(事業所内で設備導入を行うものに限る。)

再生可能エネルギーの種類(発電)	単位	実績導入量	計画導入量	概要 (導入時期、規模、方法等)
	kWh			
	kWh			
	kWh			
計	kWh			

再生可能エネルギーの種類(熱利用)	単位	実績導入量	計画導入量	概要 (導入時期、規模、方法等)
	GJ			
	GJ			
	GJ			
計	GJ			

8 事業所内で実施する温室効果ガスの排出の抑制に係るその他の措置

(1) 事業所における再生可能エネルギーの環境価値の保有

種類	単位	実績導入量	計画導入量	概要 (導入時期、規模、方法等)
	kWh			
	kWh			
	kWh			
計	kWh			

(2) その他の取組

事項	取組概要
テナント事業者等への還元のための措置	
廃棄物の削減	削減予定量 t 実績 t
グリーン調達	「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づき、「多摩ニュータウン環境組合ガイドライン」を策定し、文具類について25品目を対象にグリーン購入を実施しています。他に、清掃工場で使用する薬剤についても、ケミカルリサイクル品（アンモニア水）やエコセメント（セメント）を使用しています。
物流の効率化	
その他、社員の通勤における削減対策等	

(その6)

9 自動車等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の進捗状況及び目標の達成状況等(個表)

(1) 自動車等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況及び目標の達成状況

対策No	対策の名称	計画			達成状況		備考
		対策導入率等		削減効果の見込量(t)	導入率等	対策完了による削減効果の量(t)	
		現状	目標				
1	相乗りの励行						
2	車両変更時における低公害車への切替						
3	空ぶかし、急発進、急加速運転等の抑制						委託業者や搬入業者に対して入所時に説明を行い、省エネ運転の励行に努める。

(2) 自動車等に係るその他の事項

--

(その7)

10 事業所外で実施する温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

事項		(達成状況)				
都内で実施する措置	他の事業所で実施する削減対策		削減量	見込	実績	t-CO2
	地域住民、消費者、民間団体等と協働して実施する削減対策					
	植林、緑化等		導入量	予定	実績	m ²
	その他					
都外で実施する措置	他の事業所で実施する削減対策		削減量	見込	実績	t-CO2
	地域住民、消費者、民間団体等と協働して実施する削減対策					
	植林、緑化等		導入量	予定	実績	m ²
	その他					
上記以外で、他の事業者、消費者等の温室効果ガスの排出の抑制に寄与する取組等						